

## 教科の目標

- 1 日本や世界の地理的事象に対する関心を高める。
- 2 広い視野に立ってわが国土の地域的特色を考察し、理解する。
- 3 地理的な見方や考え方の基礎を培う。
- 4 わが国の国土に対する認識を養う。

## 評価の観点

- 1 社会のさまざまなできごとへの関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って、解明しようとしているか。  
(主体的に学習に取り組む態度)
- 2 社会のさまざまなできごとから問題を発見し、情報を多面的に考察した内容を表現できるか。  
(思考・判断・表現)
- 3 必要な資料を収集、選択、活用し調べた内容から、課題に対する適切な利用し、発表・討論できるか。社会のさまざまなできごとの意味や特色、相互の関連性を理解し基礎的な知識を身につけているか。  
(知識・技能)

## 評価の方法

- 1 授業中の態度や参加の様子がまじめで意欲的であり、考えを発言する
- 2 課題に対し、多角的・多面的に考察し、言葉や文章等により解決することができる。
- 3 課題に対する適切な資料を収集し解決のために利用することができる
- 4 授業内容を知識として構築し、定期テスト(中間・期末)で解答することができる。

## 特色ある学習方法

- 1 問題解決型学習を単元によって導入し、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 2 話し合い活動を通し、他者からの情報を分析する能力を高める。
- 3 課題に対する調査活動を行い、適切な資料を収集し活用する能力を養う。
- 4 基礎的事項の理解、定着を図るためまとめ作業やレポート作成等を行う。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法  第2章 日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。</li> <li>・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけさせる。</li> <li>・世界的視野から見た日本の地域的特色や、日本全体の特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点からとらえる活動を通して日本の国土の特色を大観する。</li> <li>・上記の観点から、世界と日本、日本と国内の地域間を比較し関連付けて考察することで、日本の地域的特色を多面的・多角的にとらえる観点や方法を身に付ける。</li> </ul>
二 学 期	第3章 日本の諸地域  1節 九州地方  2節 中国・四国地方  3節 近畿地方  4節 中部地方  5節 関東地方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の各地方の地理的事象に関する学習テーマを設定し、意欲的に追求する。</li> <li>・日本の各地方の特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果を様々な手法で表現する。</li> <li>・日本の各地方に関する様々な資料の読み取りや比較、分析や関連付けなどを行うことができる地理的技能を育む。</li> <li>・日本の各地方の自然環境や産業、生活や文化、歴史的背景などの特色について、それぞれの基礎的、基本的な知識を身に付ける。</li> </ul>
三 学 期	6節 東北地方  7節 北海道地方  第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の各地方の地理的事象に関する学習テーマを設定し、意欲的に追求する。</li> <li>・日本の各地方の特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果を様々な手法で表現する。</li> <li>・日本の各地方に関する様々な資料の読み取りや比較、分析や関連付けなどを行うことができる地理的技能を育む。</li> <li>・日本の各地方の自然環境や産業、生活や文化、歴史的背景などの特色について、それぞれの基礎的、基本的な知識を身に付ける。</li> <li>・地域の実態や課題解決のための取</li> </ul>

地域の在り方

り組みを理解する。